

教科	理科	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元1 いろいろな生物とその共通点	24	身近な生物についての観察・実験などを行い、いろいろな生物の特徴を見いだして生物や動物のからだの基本的なつくりを理解する。また、見いだした特徴にもとづいて生物を分類するための技能を身に付け、思考力、判断力、表現力など育成し、生物を分類できるようになる。	いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類のしかたについての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	「生物の観察と分類のしかた」「動物のからだの共通点と相違点」実験などを通して、いろいろな生物や植物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見出して表現しているなど、科学的に探究している。	「生物の観察と分類のしかた」「動物のからだの共通点と相違点」に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
単元2 身のまわりの物質	23	理科の見方・考え方を働かせ、身の回りの物や溶解、状態変化について理解する。また、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。	身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、「身のまわりの物質とその性質」「気体の発生とその性質」「水溶液について」「状態変化と熱、物質の融点と沸点」についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	「物質のすがた」「状態変化」について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	「物質のすがた」「状態変化」に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
単元3 身のまわりの現象	23	中学校で初めて物理的な事物・事象についての観察、実験にとり組み、光、音、力など、感覚を通して日常生活や社会との関わりについて考え、興味・関心を高める。また、これらの観察、実験を通して、科学的な資質・能力を身につける。	「光や音」「力のはたらき」に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、光の反射や屈折、凸レンズのはたらきなどについての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	「光や音」「力のはたらき」についての問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、光の反射や屈折、凸レンズのはたらきから規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	「光や音」「力のはたらき」に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
単元4 大地の変化	22	野外観察を通して、観察のしかた、スケッチの方法を習得する。また、観察・実験の結果や資料をもとに、火山活動のようすと岩石、地震活動のゆれの伝わり方と大きさ、大地の過去を読み取り、科学的に観察できるようになる。また、火山活動や地震活動の仕組みを理解し、防災の知識を高める。	大地のなりたちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、「身近な地形や地層」「岩石の観察」「火山活動と火成岩」「自然のめぐみと火山災害」についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	「身近な地形や地層」「岩石の観察」「火山活動と火成岩」「自然のめぐみと火山災害」の観察について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性などを見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	「身近な地形や地層」「岩石の観察」「火山活動と火成岩」「自然のめぐみと火山災害」の観察に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。